

多機関連携による新たな人財確保ルートの構築 介護サポーター採用事業



～シニアから若者まで、多様な人材が活躍できる介護現場へ～

新たな人財確保ルート①

介護労働安定センター との連携

介護助手講習受講者の送り込み



- ✓ 介護の基礎を学んだ人材を紹介
- ✓ 介護分野への就労意欲が高い方が対象
- ✓ 介護職へのステップアップも期待

青森県福祉人材センター (総合窓口・マッチング)

両機関と連携し、人財確保～定着までを一貫して支援!



介護サポーターとして介護現場で活躍!



本事業の目的

周辺業務を担う「介護サポーター」を確保・活用することで、介護職員の専門業務への集中を促し、介護サービスの質の向上と職員の負担軽減を図ります。

また、多機関連携によりシニア層や子育て世代に加え、就労に課題を抱える若者など、多様な人材の社会参加と介護分野への就労機会の拡大を目指します。

新たな人財確保ルート②

若者サポートステーション との連携

就労に課題を抱える若者の支援



- ✓ 就労前から就職後まで切れ目ない支援
- ✓ 職場見学・体験や面接同行もサポート
- ✓ 定着支援で安心して働き続けられる

介護サポーターの主な業務 (身体介護は行いません)



資格や経験がなくても、安心して始められるお仕事です。

多機関連携による期待される効果

- 多様な人材の確保 (新たな層へのアプローチ)
- 人材確保ルートの多角化・安定化
- 福祉分野への就労機会の創出・拡大
- 地域共生社会の推進と持続可能な介護サービスの実現

青森県福祉人材センターは、多機関と連携し、介護現場と多様な人材をつなぐ新たな仕組みづくりに取り組んでいます。